

新生銀行に対する SBI ホールディングスの株式公開買付 – 直ちに格付には反映せず

以下は、株式会社新生銀行（証券コード：8303）に対する SBI ホールディングス株式会社（証券コード：8473）の株式公開買付についての株式会社日本格付研究所（JCR）の見解です。

■見解

- (1) 9月9日に SBI ホールディングス（SBIHD）は、完全子会社を通じて新生銀行（当行）株式の公開買付を開始することを発表した。SBIHD は当行を連結子会社化し事業提携関係を構築することや当行経営陣を刷新することなどを目的として、株式公開買付により株式所有割合を 20.32%（9月9日時点）から最大 48%に引き上げる方針である。当行は本件に対する意見を表明していない。
- (2) SBIHD の公表文書を見る限り、当行のビジネスラインの大きな変更は想定されていないと見受けられる。財務面でも公的資金の取扱いについて大きな方針変更はみられない。このため、現時点では本件をもって直ちに格付を変える必要はないと JCR は考えている。SBIHD による連結子会社化が成就した場合、SBI グループにおける当行の位置付けなどに注目していく。

（担当）炭谷 健志・浅田 健太

【参考】

発行体：株式会社新生銀行

長期発行体格付：A- 見通し：安定的

■留意事項

本文書に記載された情報は、JCR が、発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものです。ただし、当該情報には、人為的、機械的、またはその他の事由による誤りが存在する可能性があります。したがって、JCR は、明示的であると黙示的であるとを問わず、当該情報の正確性、結果的確性、適時性、完全性、市場性、特定の目的への適合性について、一切表明保証するものではなく、また、JCR は、当該情報の誤り、遺漏、または当該情報を使用した結果について、一切責任を負いません。JCR は、いかなる状況においても、当該情報のあらゆる使用から生じうる、機会損失、金銭的損失を含むあらゆる種類の、特別損害、間接損害、付随的損害、派生的損害について、契約責任、不法行為責任、無過失責任その他責任原因のいかんを問わず、また、当該損害が予見可能であると予見不可能であるとを問わず、一切責任を負いません。また、JCR の格付は意見の表明であって、事実の表明ではなく、信用リスクの判断や個別の債券、コマーシャルペーパー等の購入、売却、保有の意思決定に関して何らの推奨をするものでもありません。JCR の格付は、情報の変更、情報の不足その他の事由により変更、中断、または撤回されることがあります。格付は原則として発行体より手数料をいただいて行っております。JCR の格付データを含め、本文書に係る一切の権利は、JCR が保有しています。JCR の格付データを含め、本文書の一部または全部を問わず、JCR に無断で複製、翻案、改変等を行うことは禁じられています。

■NRSRO 登録状況

JCR は、米国証券取引委員会の定める NRSRO (Nationally Recognized Statistical Rating Organization) の 5 つの信用格付クラスのうち、以下の 4 クラスに登録しています。(1)金融機関、ブローカー・ディーラー、(2)保険会社、(3)一般事業法人、(4)政府・地方自治体。

■本件に関するお問い合わせ先

情報サービス部 TEL : 03-3544-7013 FAX : 03-3544-7026

株式会社 日本格付研究所

Japan Credit Rating Agency, Ltd.
信用格付業者 金融庁長官（格付）第 1 号

〒104-0061 東京都中央区銀座 5-15-8 時事通信ビル